

音楽 No. 4

このワークシートは学習のあと、
先生にわたしましょう。

6年 組

名前 _____

めあて 盛り上がりを生かし、心をこめて歌おう

* 「さようなら」の音源は、授業での聴取または学校 HP 等からの限定配信をご利用ください。

学校からの配信は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 SARTRAS へ届け出のうえ、
パスワード等を用いた限定配信及びストリーミング配信（ダウンロード不可）で行ってください。

* 歌唱の扱いは、家庭等校外での活動を視野に作成しています。授業で扱う場合はマスクの着用や
ソーシャルディスタンス、音量等にご留意ください。

1. 教科書 54 ページ「さようなら」の、上のパートを指でなぞりながら音げんをきいたり、音げんに合わせて歌ったりしましょう。

2. 曲の特ちょうを見つけながら、上のパートを歌いましょう。上のパートは主なせん律です。

★見つけた特ちょうに○をつけましょう。○はいくつつけてもよいです。

- () 各フレーズの歌い出しが、前の小節の最後の拍から始まっている
- () やや弱く始まり、少しずつ強くなって、中ほどで盛り上がる
- () 盛り上がりに向けて、音がだんだん高くなる
- () 盛り上がりのもと、音が少しずつ低くなり、強さも弱くなっていく

3. この曲の1番盛り上がる場所はどこでしょう。見つけて1番の歌しを書きましょう。

4. この曲を歌うときに大切だと思うことに、○をつけましょう。○はいくつつけてもよいです。

- () 歌い出しなど、やや弱く歌うところも、気持ちをこめてていねいに歌う
- () 盛り上がりに向けて、強弱記号を生かして歌う
- () 最初から最後まで、元気よくできるだけ大きな声で歌う

5. 下のパートにちょう戦しましょう。

★下のパートを指でなぞりながら音げんをきいたり、合わせて歌ったりしましょう。

★下のパートのせんりつの動きや役わりについて確かめましょう。確かめたら○をつけましょう。

- () 2段めまで、上のパートといっしょに主なせんりつを歌う
- () 3段めから、上のパートを追いかけるように始まるフレーズを歌い、とちゅうから上のパートと同じリズムで音を重ねる
- () 最後の段は上のパートと同じリズムで音を重ねる

★曲の特ちょう、下のパートの役わり、強弱を感じながら、下のパートを歌いましょう。

できたら○をつけましょう。

- () 下のパートを歌うことができた
- () パートの役わりや強弱を生かしながら、下のパートを歌うことができた
- () 少しむずかしいところがあった

6. 「さようなら」を合唱するとき、自分ならばどちらのパートにちょう戦したいですか。その理由も書きましょう。

どちらのパートを歌いたい？	その理由は？

7. 「さようなら」を、どのような気持ちをこめて歌いたいですか。教えてください。

